

【幼稚園餅つき】

12月には穏やかな日和の中、エプロン姿も凜々しい先生方とお父さんたちの絶妙な掛け合いで、つき上がるお餅。園児たちは、蒸した餅米がこんなに粘り気のあるお餅になることに、目が真ん丸。そのあと武蔵野民謡保存会の方々による、四人一組のリズミカルな杵つきの技。お父さんたちも負けじと、悪戦苦闘しつつも四人一組の杵つきに挑戦。それらを真剣に見守る園児たち。次いで、武蔵野東中学校のお兄さんお姉さんと一緒に、園児たちも餅つきを体験。



つき立てのお餅をみんなで食べました。出来立ての美味しさと共に、食べ物が出来上がる過程を知り、それらに関わる人々の努力を自身で体験することは、子どもの食育に重要なことだと感じました。 年長Y

【クリスマスチャリティーライブ】

自閉児が主役のロックバンド。そんなコンサートに行ってきました。昨年末、スカラホールで行われたOut of Tuneの5回目のクリスマスコンサート。高専3年生の高田君(ボーカル・ギター)、黒澤さん(ボーカル・コーラス)東中卒業生の宮島君(パーカッション・シロフォン)と桑原君(シンセサイザー)、そしてその家族がバンドメンバーで、オリジナル曲や自閉児だけの演奏と見応え、聞き応えのあるコンサートでした。

また今回は、東北支援チャリティーライブともなっており、当日ライブに参加した100名近くの人達からの寄付金は、宮城県の自閉症協会へ義援金として送られたそうです。

このバンドがここまで来るには、きっと大変だったと思います。それは親御さんたちの夢と希望のバンドだったから可能にしたと私は思っています。みなさんも機会があれば是非見て聞いて感じて下さい。 OB 佐竹



●編集後記

本年度最終号の連合後援会だよりはいかがでしたか？

春は出会いと別れの季節です。子どもたちの成長と共に私たち保護者も、東学園でたくさんの楽しい思い出を作りましょう。

今年も「連合後援会だより」をご愛読いただきありがとうございました。来年も学園の様子を楽しくお伝えしていくので楽しみにしていてください。(I)

Topics

【むらさきOB会クリスマス会】

12月3日(土)高等専修学校地下講堂に於いて、「むらさきOB会クリスマス会」が開催されました。

クリスマス会当日は、1期から23期までの卒業生141名、先生方40名、保護者44名、計225名のご参加をいただき、久しぶりに会う先生方や友人との会食の後、4人の新任の先生方のパフォーマンスやくじ引き大会で盛り上がり、本当に楽しいひと時を過ごしました。

今年の冬もまた、皆様の笑顔にお会いできることを楽しみにしております。

お忙しい中、ご協力下さいました先生方、お手伝いの保護者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

むらさきOB会 幹事 藤本京子

【連合後援会OB会】



私達後援会OB会では、年間行事の一つである新年会を1月28日に武蔵境の「遊子」にて開催しました。

学園より寺田理事長をはじめ鈴木事務長・長内先生・現役の会長さんにもお越しいただき新年のOB会のスタートにふさわしいひと時を過ごすことができました。

冒頭藻谷会長より11月の学園祭の慰労とこれからも微力ながら後援会活動に尽力していく挨拶があり、今回は新たに参加された方々もいて明るい雰囲気の中、美味しい料理を堪能しました。

このほかにOB会では小学校の花壇の整備をはじめ、学園祭での餅つきや焼きそばの販売、親睦旅行など、会員の方々に積極的にご参加いただきながら、お子さんが卒業しても保護者の方々が楽しく参加できる場として活動を続けています。

この3月にご卒業される皆様方にもこの機会に是非ご入会いただきますようお願い申し上げます。 OB 高橋

●編集委員会（編集スタッフ）

高等専修 小澤恵美子 森本頼子
中学校 飯盛久美子 野内陽子
小学校 木幡綾子 高橋章子
幼稚園 天野英理 太田瑞恵
高等専修 桑原厚 齋藤良 大槻敬
中学校 家住隆士 青柳博行 黒澤陽治
小学校 松井幹和



武蔵野東学園
連合後援会だより

発行：武蔵野東学園連合後援会だより編集委員会 新51号 平成24年3月9日発行

武蔵野東学園 連合後援会だより



こんにちは!

こんにちは、連合後援会だよりです。
今号の特集は「卒業にあたって」です。卒業生をもつ保護者の方から、東学園での思い出いっぱいのお話をいただきました。また、発表会のエピソードなど盛りだくさんでお届けします。
それでは、今年度最終号をどうぞ!

幼稚園

「卒園にあたって」

長男が東幼稚園を卒園して、はや11年が経ちました。いつも元気いっぱい笑顔に満ち溢れ、充実した幼稚園生活を送ったことは、親にとっても、今でも大切な思い出です。

そして、長女が生まれ、幼稚園に通うなら、絶対に東幼稚園しか考えられない…その思いで、再び東での楽しい幼稚園生活が始まりました。

11年経っても全く変わらないと感じたのは、いつも子どもたちを温かく優しい笑顔で迎えてくれた先生方でした。長女もすぐに東幼稚園の温かい雰囲気に馴染み、幼稚園が大好きになりました。あっという間に3年間が過ぎ、長女もたくさんの思い出ができました。

大人になったら東幼稚園の先生になりたい!!
大きな夢も見つかりました。

子どもたちの成長をいつも変わらず、温かく見守ってくれた先生方に心から感謝しています。(年長T)

特集 卒業 にあたって



小学校

「卒園を迎えて」

子どもたちの元気な歌声を聴きながら、卒園準備を進めております。

子どもの入園とともに始まった後援会活動は、経験したことのない緊張と感動の連続でしたが、3年間はあつという間でした。

五役の仲間や役員の皆様、そして保護者の皆様と楽しく活動出来ましたことは本当に素晴らしい思い出となりました。

毎朝の日課の寝ぐせ直しも、今となっては座ってくれば見えないほどの背になりました。男の子は女の子に比べて幼いなど常に感じつつ、彼らなりに心も体も少しずつ大人に近づいていくんだと思います。

私のほうは子供の成長と共に歳を重ねていくばかりですが、後援会活動を通して様々な経験をさせていただきました。親子共々

充実した環境を与えて下さった東小に、また至らない私を温かく見守って下さった先生方や保護者の皆様に感謝するばかりです。

幼稚園後援会副会長 奥山伸子 野上かおり

中学校

「3年間を終えて」

3年前の冬、息子の私立受験を考えていた私に「絶対にいい学校だから!」と数人の知人がすすめてくれたのが武蔵野東でした。後援会五役のお話をいただき、何もわからないままの役員スタートでしたが、先生方や五役、クラス役員の方々がいつも明るくあたたかくサポートしてくださいり、なんとか3年間つとめさせていただきました。息子も東の3年間ですばらしい出会いや様々な経験を通して、心も体も大きく成長しました。何においても豊かな東の環境で学んだことは、私達の一生の財産です。

先生方、保護者の皆様、そして子どもたちに心から感謝いたします。

充実した3年間をありがとうございました。

中学校後援会副会長 岡頼子

高等専修学校

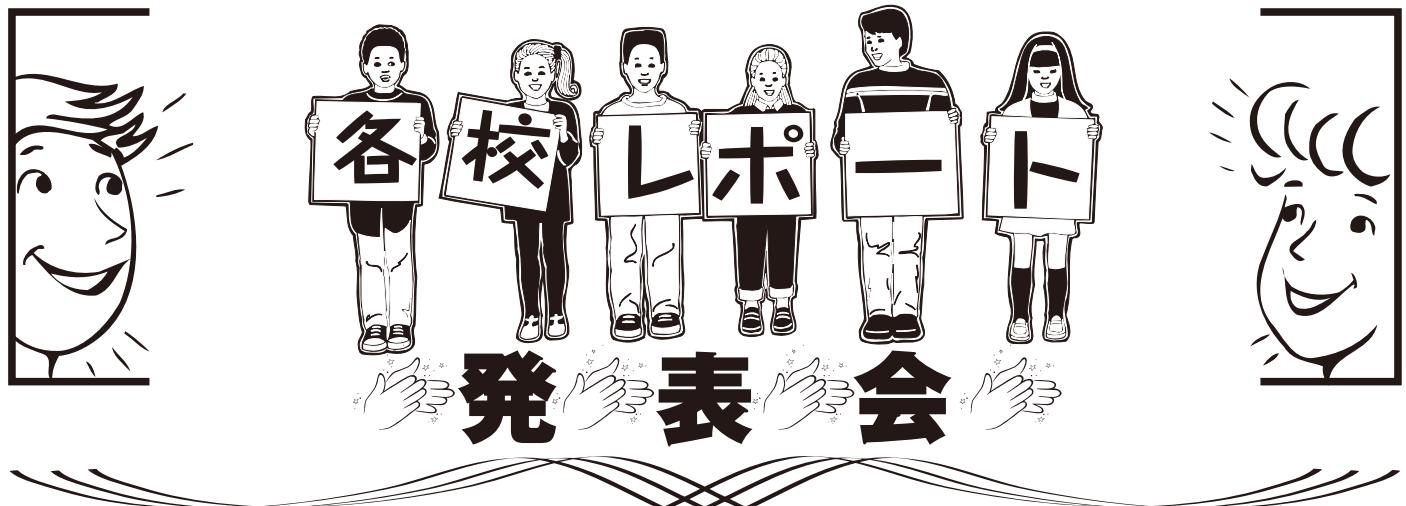
「卒業にあたって」

自閉症の息子と東学園の門をくぐって11年。いよいよ卒業の日を迎えます。先生方の熱いご指導を子も親もいただき、驚くほど成長させていただきました。そして混合教育の中での友達、保護者をはじめ多くの方々との出会い。これらは大きな財産となり、間違いなく卒業後の私達の人生を支えてくれることを感じています。

また、後援会活動では皆様の積極的なご協力を沢山いただきました。ひとりでは成し遂げることのできなかつた1つ1つの行事。至らない点は多々あったかと思いますが、皆様に盛り上げていただき楽しく活動してこられました。お礼申し上げます。私自身も多くの事を学ばせていただきました場となりました。

これまでお世話になりました皆様、本当にありがとうございました。東学園の益々のご発展を願っております。

高等専修学校後援会副会長 高田尚美



幼稚園

☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺

発表会の練習が始まった頃、「いっかいめにいっかいめ」とかけ声をかけながら家で踊りの練習をしていました。本番が近づくにつれ「早く発表会に出たい」と話すようになり、頼もしいと思う反面、本番は環境が違う大舞台!照明や暗い客席と人数に圧倒され立ちすくんしてしまうのではないか?初めての子どもたちに先生方はどのような説明をされているのだろうか?と少々心配をしていました。舞台裏では衣装に着替え初めての薄化粧…

「男の子にもお化粧?」と戸惑ったものの、「まんざらでもないね」とお母さん達とは緊張の溶けるひとときでした。そして本番!大きな口を開けて歌い、周りのお友達の様子を見ながら堂々と演技する姿がありました。お友達と共に練習を重ね大舞台で発表するという貴重な経験をさせて頂き、想像以上の成長を見ることができたように思います。初めての発表会は、子どもたちの一生懸命な演技とエネルギー溢れるまつすぐな歌声に、泣いたり笑ったりと本当に楽しい一日でした。

そして、子どもたちの前に立ち、指揮や補助をされている先生方の熱心な後ろ姿にも感動いたしました。ありがとうございました。 年少 N



小学校

☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺

ドキドキの入学式から早10ヶ月、初めての発表会を迎えるました。当初は「発表会は女子の晴れ舞台」と思い込んでいたので、息子をもつ母としては、それほど大きな期待も緊張感もありませんでした。ところが、いざ始まると、オープニングのプラスバンド演奏から超・ド級の迫力!女子のダンスは期待通りの見応えで、低学年の



かわいらしさ、中学年の溌剌、高学年の優美さが見事に調和していました。息子の参加したマスゲームも、津軽三味線の勇壮なリズムに乗って、堂々とぼちを操る姿に、一観衆として心から楽しめました。

プログラムが進むにつれて、緊張感や期待感が高まっていくのを感じ、気づいたら周りのお客様と共に、手拍子を送っている自分がいました。まったく面識のないお子さんの演技を見ても、自然に涙があふれたり、会場からの応援の声に舞台と客席の一体感を感じたり、なんだか不思議な時間と空間を味わったような気がします。

演技や演奏の素晴らしさもさることながら、会場いっぱいの保護者の方々の熱い心意気にも強く心を動かされました。

武蔵野東学園の仲間として、感動のひとときを共有できたことがとても嬉しいです。子どもたちのご指導に直接関わってくださった先生方だけでなく、陰で支えて準備してくださった先生方にも深く感謝いたします。 ありがとうございました。 小学1年 S

中学校

☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺ ☺

初めての発表会は、想像以上のスケールと内容でとても感動しました。校長先生が、「集団の中で個は育つ」と開会式でおしゃっていました。その通り、4月に東中に入学して、先生方のご指導の下、たくさんの友達に囲まれて成長した個々の輝きを一つにして放った素晴らしい舞台でした。外の寒さを吹き飛ばすかのように、ホールの中は、自信に満ちた生徒達の笑顔と、それを見守る先生方と保護者の温かな空気に包まれていました。こうした恵まれた環境の中で、多感な中学時代を送ることに改めて感謝いたします。また「個が育つ中で集団も育つ」とも思われ、東中のさらなる発展の期待も胸に、会場を後にしました。

中学校1年 Y



【ウェルカムパーティー】

今年もむらさき連合会新年会が、小学校体育館で盛大に開催されました。

今回で42回目を迎え、なんと…参加者は500名を超ました!

先生方は多くの保護者と話をしたいと、むらさきのクラス担任の先生方から、専科、健常児クラスの先生方まで出席して下さいました。保護者も年2回の懇親会の楽しさが浸透しているようで!年々友達の輪が広がっています。

嬉しいことですが、体育館いっぱいの席、そしてアリーナ席も受付に迫って、次回は廊下までいくかも?です。

先生方には会場の準備から片付けまで大変お世話になりました。保護者の皆様もご協力ありがとうございました。次回の参加もお待ちしています。
むらさき会 執行部 高3山脇

小中学校発表会の前日に、姉妹校である「ボストン東スクール」の先生方をお招きし、チャレンジショップ内にて「ウェルカムパーティー」を開催しました。ガーランド理事長はじめ5名の先生が来校されました。東学園からは各園校の校長、教頭、事務長先生方、そして連合後援会を代表して各園校、むらさき会の会長・副会長出席のもと歓迎会を行いました。ガーランド理事長からは、日本の被災による哀悼の言葉と、当日幼稚園～高等専修学校を参観されたご感想をお話しいただきました。毎年感じますが、ボストン東の先生方も日本の東学

園の生徒達を良く見て下さっています。海を越えた場所からも大きな愛に支えられ、我々の子ども達も成長しているのだなと思います。翌日の発表会も熱心にご覧になり「AB組、CDE組共に素晴らしい発表会でした。」と感心されていました。

そして、「来年6月、ボストン東校は25周年。ぜひ日本からも沢山お越しください!」の言葉を残して帰国されました。ボストン東校の皆様、ありがとうございました。

中学校後援会長・むらさき会副会長 大槻 敬

【むらさき新年会】

高等専修学校 進路について

進路指導部長
渡辺 正司

今年度の進路活動は、景気低迷に加え、東日本大震災の影響を受け、これまでにない厳しさがありました。特に就職活動は、企業側の採用計画の目処が立たない状況が生じたり、計画そのものが無くなってしまう状況が生じたりと、機会をいただくまでに大変な苦労を伴いました。それでも懸命に取り組んできた成果が表れ、就職希望者全員が4月からの活動拠点を何とか確保することができました。その中で特筆すべきは、4名の生徒が、本校卒業生が経営する企業、また採用窓口の責任者を務める企業から採用内定をいただいたことです。まさに本校の進路指導における「絆」を感じた事象でした。

大学・専門学校等進学も含めこのように進路決定できたことは、生徒自らが懸命に学校生活・進路活動に真剣に取り組み、成長を遂げてくれたからこそであり、それを後ろ盾いただいた保護者の皆様の温かいご理解とご支援があればこそと、深く感謝申し上げる次第です。

3年生には、卒業後も引き続き自己教育力の強化を図り、精進を重ねてくれることを願っております。